



日本ウミスズメ類研究会 (Japan Alcid Society) 会報 1997年10月31日発行

JAS Information

日本ウミスズメ類研究会では、下記の通り、12月7日にシンポジウムを共催いたします。定員制ですのでお早めにお申し込み下さい。タイトルは「ナホトカ号汚染鳥類の救護活動から何を学ぶか」です。内容的には救護に限定されたものでなく、危機管理全般と、その後の環境再生のことなども話し合われる予定です。どうぞお誘い合わせのうえ、ご参加下さい。事前申し込み制になっています。お早めにお申し込み下さい。

日米専門家会議「ナホトカ号油汚染鳥類の救護活動から何を学ぶか？」
- 環境保全における危機管理の将来像 -

日時：1997年12月7日(日) 9:30 ~ 19:30

会場：東京都中央区銀座・銀座ガスホール

主催：野生動物救護獣医師協会 (WRV)

日本ウミスズメ類研究会

(財)世界自然保護基金日本委員会 (WWFJ)・日本財団

後援：環境庁・運輸省・海上保安庁

予定 (財)日本野鳥の会・(財)日本鳥類保護連盟・PSG日本海鳥保護委員会

海上災害防止センター・(社)日本海難防止協会・石油連盟

(社)日本獣医師会・(社)日本動物園水族館協会・野生動物医学会

会費：2,000円(当日3,000円)

申込：郵便振替にて11/20までに事前申し込みを原則とします。(申し込み順、定員340名)

加入者名：野生動物救護獣医師協会 / 口座番号：00130-8-607137

問い合わせ：

Wildlife Rescue Veterinarian Association of Japan

302 Fuji Park Bld. 1-23-16 Fujimi Tachikawa Tokyo 190 Japan

野生動物救護獣医師協会 立川市富士見町1-23-16 富士パ - クビル302

TEL:+81-425-29-1279 FAX:+81-425-26-2556

<http://www.ask.or.jp/wrvj>

[プログラム]

10:00 開会 WWF J 名誉総裁 秋篠宮親王殿下(予定)

10:05 「ナホトカ号事故時の日本の取り組み」 座長 馬場國敏(WRV)

1、ナホトカ号事故における保護鳥類の救護活動とその将来像

WRV在外専門委員 スコット・ニューマン (University of California, Davis)

2、ナホトカ号事故時のビーチ・センサスの実際と今後の課題

古南幸弘 (日本野鳥の会 保護・調査室 室長)

3、ナホトカ号事故における油汚染鳥類の疫学的分析

WRV研究部長 梶ヶ谷博 (日本医科大学)

4、生態系保全におけるナホトカ号事故時の危機管理の実際と今後の課題

環境庁野生生物局鳥獣保護業務室 専門官 水谷知生

12:30 昼食

13:30 「米国における油汚染事故時の生態系保全戦略」 座長 東梅貞義(WWFJ自然保護室)

1、米国における油汚染事故時のワイルドライフケア

全米油汚染生物救護連絡協議会 会長 ジョナ・マゼット

(Jonna Mazet Director of OWCN)

2、カリフォルニアにおける油汚染危機管理プランニングと現地管理

加州油汚染対策局 生物専門官 ポール・ケリー (Paul Kelly of OSPR)

3、米国における油汚染被害の調査技術と環境回復プログラムの実際

米連邦政府生物資源調査室 調査官 ハリー・カーター

(Herry Carter US. Geological Survey's Biological Resources Division)

4、カリフォルニアにおける油汚染事故対策の目的と広域管理技術

加州油汚染対策局 局長 ピート・ボナデリー

(Pete Bonnadelli Administrator of OSPR)

5、米国の油汚染事故時の環境保全戦略

米連邦政府沿岸警備隊 極東部 隊長 ジョセフ・ブルソ

(Captain Joseph Brusseau Commander Activities Far East of US Coast guard)

17:30 休憩

18:00 パネルディスカッション

日本側座長 植松一良(WRV)

米国側座長 ジョン・フリーズ(日本ウミスズメ類研究会, Univ.Ca.Davis.)

19:30 閉会 WRV会長 野口泰道 (Yasumichi Noguchi Director of WRV)

